

【幹事会】事業計画兼予算申請書（2025年4月～2026年3月）

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
TJUP会員（大学・自治体・企業等）の共通課題の検討	(1)-1	TJUP会員	参加大学や自治体・企業等における課題を検討し、運営協議会等の審議を経て、課題の解決を図っていく。	随時
事業内容の検討	(1)-2	TJUP会員	現在の委員会等の在り方（自治体、企業等の参画）を含め、TJUPの事業運営方法やその内容の検討を引き続き行い、TJUP組織の強化を図る。	随時
中長期計画のPDCAサイクルの実施	(1)-3	TJUP会員	中長期計画は、計画の進捗度合いや時々の状況の変化に対してフレキシブルに対応していく必要があるため、毎年度自己点検を踏まえた検証と、必要に応じた計画の見直し・検討を行う。	随時
大学と自治体、企業等との連携体制整備・強化	(1)-4	TJUP会員	TJUPの構成員である大学、自治体、企業等間の協議を通じ、連携体制を整備・強化し、各大学と自治体、企業等が共に発展していくことを目指す。	随時
・全体会後の会員交流会	(1)-4	TJUP会員	全体会終了後に会員交流会を実施し、各大学と自治体、企業等が共に発展していくことを目指し、連携強化を図る。	
大学と自治体、企業等が連携したTJUPの認知度の向上	(1)-5	TJUP会員	ホームページや各種事業を通してだけでなく、大学と自治体、企業等が連携し、自治体広報誌やマスメディア等を通じてTJUPの認知度向上を図る。	随時

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
・ TJUPわくわくランド2025の実施	(1)-5	地域・一般の方、TJUP会員	TJUPビジョン「地元で学び、地元で生きていく若い世代の支援」に基づき、TJUPの認知度向上のためイベントを実施する。	未定
人事交流制度の整備と実施	(1)-6	TJUP会員	TJUP参加大学間や、自治体、企業等間との人事交流について、各組織において制度上の整備検討を行い、制度の活用件数を増やすことによって、組織全体の活性化を図る。	随時
TJUP主催、各委員会主催の共同FD・SD活動の実施	(1)-7	TJUP会員	TJUP、各委員会主催でFD・SD活動を実施し、参加大学の教職員が積極的に参加することにより、授業改革や管理運営・教育研究支援の質向上を図り、また、会員校間の連携を促進する。	随時
・ TJUP主催 「大学教職員のFDSD研修プログラム」(オンデマンド) (仮)	(1)-7	TJUP会員	各校での取り組みや教員の専門分野などを研修プログラムとして用意し、TJUP会員校教職員のスキルアップにつなげる。	8月～10月を公開期間とする
公開講座の開設	(2)-4	地域・一般の方、地元企業従事者の方、TJUP会員	主に地域住民や地元企業従事者を対象として、TJUP参加大学による共同の公開講座を開設し、生涯学習やリカレント教育・リスキリング推進の機会を提供することにより、大学の知的資源を地域に還元する。	随時
・ TJUP主催公開講座2025 「武蔵国の19校を通して埼玉の大学を知る2025」講座 (仮)	(2)-4	地域・一般の方、地元企業従事者の方、TJUP会員	各校のブランド発信、特色ある授業など、自由なテーマで設定し、地域の方に向けて、TJUP会員校の様々な専門分野の視点から公開講座を提供する。	7月～9月予定

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
共同研究の活性化と推進	(2)-7	TJUP会員	TJUPの参加大学と企業、自治体間において、共同研究の活性化に向けた検討を行い、その推進を図るとともに、長期的にはそれらの研究成果を活用した事業の展開を目指す。	随時
教育・研究施設の共同利用の推進	(2)-8	TJUP会員	TJUP参加大学間や自治体、企業等間において、教育・研究を目的とした施設の共同利用を行うことにより、共同研究の発展、交流の推進やコスト削減に寄与する。	随時
活性化対象地域における高等教育のグランドデザインに関する検討の実施	(4)-5	TJUP会員	活性化対象地域における長期的な高等教育の展望、教育の質保証、各大学の役割や高等教育の将来像について、大学、自治体、企業等がそれぞれの立場から意見を出し合い検討を行い、その結果を公表する。	随時
共同IR検討会の実施	(1)-4	TJUP会員	TJUP会員校間で実施したIR調査のデータを、自治体会員、事業者等会員と共有し教育改善に繋げる。	年1回 (2026年3月頃を予定)
TJUPサーバーおよびメーリング委託費用		TJUP会員		
TJUP事業運営体制の新展開（法人化へ向けた検討）	(1)-8	TJUP会員	TJUP事業運営体制の新展開として法人化へ向けた検討を専門部会（法人設置検討部会）で行い、その結果を各会員に提示する。更にそれぞれの検討結果を踏まえた上で、具体的な法人化に向けた検討を行っていく。	随時

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
◆共同IR責任者グループ				
共同IR調査の実施	(2)-2 (2)-3 (4)-3 (4)-4	会員校	TJUP会員校のデータ収集・分析を行うことで、TJUP全体の活動状況等の客観的評価、新たな活動を検討する際の意思決定の根拠が得られる。	年2回（上期・下期1回ずつ）程度を予定
TJUP共同IR検討会の実施への協力 （事業計画は幹事会にて行う）		会員校、 会員自治体、 事業者等会員	TJUP会員校間で調査した内容をもとに、会員自治体、事業者等会員とも地域での現況や課題を共有し、TJUP内での新たな事業・取組みの検討に繋げる。	年1回 （2026年3月頃を予定）
◆学生募集活動推進グループ				
プラットフォーム大学合同入試説明会	(2)-2	高校生 他	会員校への志願者増加	2025年8月
プラットフォーム大学合同外国人留学生入試説明会	(2)-3	留学生 他	会員校への志願者増加	2025年8月
共同での高等学校訪問、アンケート調査		TJUP参加大学・ 短期大学近隣の 高等学校	地域の高等学校のニーズを把握し、今後の方針・展開および連携方法等を検討する機会の創出	2025年5月～8月
◆広報誌グループ				
一般向けリーフレット更新作業<継続>	(1)-5	自治体、企業、 地域住民、教職員等	TJUPの事業紹介、知名度向上	随時
入試広報向けチラシ更新作業<継続>	(1)-5	高校生、高校教員	TJUPの事業紹介、知名度向上	随時
印刷費				
通信費（郵送）				
◆HP・SNSグループ				

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
HP更新作業	(1)-5	TJUP内外	TJUPの広報を通じて知名度向上につながる。また、必要な情報公開を行うことにより、組織の概要や活動記録を保存できる役割を担うことができる。	随時
SNSを利用した情報発信	(1)-5	TJUP内外	TJUPの広報を通じて知名度向上につながる。	随時
SNS勉強会		チームメンバー	TJUPのSNSを効果的に更新する一助となる。	2025年7月
◆Annual Reportグループ				
年次報告書（Annual Report）の作成	(1)-5	TJUP内外	1年間の活動をまとめ、TJUPの活動をPF内外へ周知する。	随時
年次報告書（Annual Report）の冊子版製作	(1)-5	TJUP内外	2024年度のAnnual Reportを冊子にし配布することで、TJUPの認知度向上に繋げる。	2025年5～6月
◆将来構想検討チーム				
TJUPの将来構想に関する検討・提案	(1)-2	TJUP会員	今後のTJUPの運営や事業内容等について検討を行い、幹事会へ提案することで、TJUPの活性化につながることを期待される。	随時
◆海外SD研修プロジェクトチーム				
韓国大学校等との交流と渡韓計画の作成	(1)-7	教職員	教職員の質の向上	随時
◆単位互換担当者ワーキンググループ				

事業概要	活動施策との対応	対象	期待される効果	時期
単位互換	(2)-5	TJUP会員校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TJUP会員校の特色を活かした「多様な高等教育」を共有することにより、学生の幅広い視野を育成するとともに、学生の学習意欲の向上を図ること</li> <li>・TJUP会員校間の相互の協力交流を通じ、教育課程の充実を図ること。</li> </ul>	通年
◆キャラクター制作プロジェクトチーム				
広報用グッズとリターンのためのグッズの企画・制作	(1)-5	クラウドファンディング出資者	クラウドファンディング出資者に向けた、オリジナルグッズを提供することにより、TJUPやツナグちゃんへの愛着を持ち、ひいてはTJUP事業の周知に有効である。	4月-6月
◆ツナグちゃんチーム				
地域イベント等への参加	(1)-5 (4)-1	活性化対象地域全体、TJUP会員校学生	地域イベントへ参加することで、TJUPの知名度向上に寄与する。参加した学生にとっては、活性化対象地域の住民・自治体・事業者との関わりを通じて、地域イベントの運営方法等を学び、経験することができる。	通年
広報用グッズの企画・製作・販売	(1)-5	活性化対象地域全体、TJUP会員校学生	地域イベントの際に、ツナグちゃんオリジナルグッズの販売を行う。グッズの企画・販売を実践することで、会員校の学生が参加した暁には、有意義なPBLの場にもなる。	通年